



盛りだくさんのイベントで 楽しいひととき



第3回図書館まつりを昨年11月18日と同27日、宗像ユリックス図書館で開催。2日間で約130人が来場し、さまざまなイベントで楽しい時間を過ごしました。

問い合わせ先 市民図書館 ☎(37)1321

松本清張の経歴などを紹介した講演会

講師に松本清張記念館専門学芸員の柳原暁子さんを迎え、北九州市小倉出身の作家「松本清張」をテーマにした講演会「松本清張と読書の出合い」を開催しました。

松本清張さんの経歴や同時代の作家との交流、鐘崎や織畑神社など宗像の地名や名所が出てくる作品が紹介されるなど、興味深い内容でした。

参加者からは「最近、テレビドラマで松本清張作



工作やお絵かきを楽しむ子どもたちとボランティア団体

品を見たので、楽しく話を聞くことができました。「もっと作品を読みたくなりました」などの感想が寄せられました。

市内の読書推進ボランティア団体を紹介

市内で活動している読書推進ボランティア団体のうち19団体が、小学校や「えほんのへや」などの活動を、手作りの展示で紹介。その他にも、ワークショップやお絵かきコーナー、おはなし会などもあり、子どもも大人も楽しく遊びました。

来場者からは「来年、子どもが小学生になります。学校で読み聞かせがある」と知って、うれしいです。「各団体の活動が分かりやすく紹介され、それぞれに特色があることも分かりました」などの声が聞かれました。

華麗な技に大歓声 マジックショー

手品師の岩佐亜東務（あとも）さんが繰り広げる華麗な技に、会場から大きな歓声が上がりました。

後半には、新聞紙でクリスマスツリーを作ったり、トランプ手品の「タネ」を教えてもらったり、子どもたちも「楽しかった」と喜んでいました。

オリジナルのクリスマスリースを製作

クリスマスソングが流れる会場で、プリザーブドフラワーを使って、オリジナルのクリスマスリースを作りました。

講師の松尾まさこさん
が準備したキットの中には、シナモンや木の実などの飾りがたくさん。参加者は「自分で作ったリースを飾るので、クリスマスが楽しみ」作るのが難しい部分もありましたが、教えてもらって上手にできました」と、完成したクリスマスリースをうれしそうに眺めていました。

「この本読んでみたい！」 手作りPOPでコマーシャル

図書館には、魅力的な本がいっぱいあります。そのような本と子どもたちをつなぐために、学校図書館ではさまざまな取り組みを進めています。取り組みの一つに「手づくりPOP」があります。POP（ポップ）とは、本の内容などを印象的に紹介する手作りカードのことです。特に、子どもたちに「この本を読んでみたい」と思ってもらえるように研修会などを開催し、大人や子どもたちが手作りのPOPで本を紹介しています。



中学生のPOP作品

POPでの本の紹介は、とても好評です。工夫を凝らしたPOPは、それを見た子どもたちの読書意欲をかき立て、たくさんの本が読まれるようになりました。

問い合わせ先 図書課学校図書館係 ☎(34)2264



クリスマスリース作りの様子

クイズやPOPに挑戦!

POPに挑戦!

子ども対象の「クイズにしようせん!」には、108人が参加。本や図書館に関するクイズに、一生懸命考える子どもたちの姿が印象的でした。また、「POP（ポップ）

おすすめ本を紹介しよう!」のコーナーでは、絵が得意な中学生が、自分の好きな本を紹介するために腕を振っていました。POP作品は今後、宗像ユリックス図書館で掲示します。

開場前から行列 BOOKリサイクル

毎年恒例のBOOKリサイクルでは、お目当ての雑誌や本を手に入れようと、開場前から行列ができました。

当日は572人が来場し、雑誌や本を選んで持ち帰りました。

がっこう



「おいしい」と好評! 鐘崎産のシイラ

学校給食に登場



シイラという魚を知っていますか?

シイラは夏から秋にかけて旬の魚です。シイラは、別名「マビキ」とも呼ばれ、鐘崎では5月から11月にかけて「まびき網漁」という方法で漁をしています。今回、鐘崎漁港で水揚げされたシイラを給食に活用。昨年10月11日には「シイラの中から揚げ」が自



おいしそうにシイラを食べる河東西小の児童たち

由ヶ丘中学校に、同じく10月20日には「シイラの磯辺揚げ」が河東西小学校の給食に登場しました。どちらの学校でも、子どもたちから「おいしい」と好評でした。

市教育委員会では、水産物消費拡大委員会と連携して、平成20年度から魚食普及を目的とした取り組みを実施しています。その一環として、鐘崎漁協や宗像漁協と提携し

今年も大盛況「むなかた見聞学講座」



中世、許斐山にあった山城跡を見学する受講者のみなさん

今年で13年目を迎えた「むなかた見聞学講座」。本年度のテーマは「戦国の宗像」特集でした。戦国時代、宗像一帯を治めていた宗像氏貞の生涯を学ぶとともに、同時代に存在した山城などを学びました。参加者は延べ400人。受講の常連さんも多く、人気の講座です。

また、平成16年度からは小・中学生向けの「子どものための郷土史講座」も開始。大昔の宗像の人々の暮らしや市内の遺跡を学び、実際の発掘品を参考に、これまで、土笛やはにわ、貝輪などを製作しました。

▽参加者の牧野孝雄さん（66歳・東郷）
むなかた見聞学講座を毎回楽しみにしています。数年前、広報紙を見て初めて参加し、地元の歴史に触れて感動しました。それから夢中になって毎回受講しています。誰がどんなテーマで話をしてくれるのか、次回が楽しみです。

問い合わせ先 市民図書館 ☎(37)1321

て、地元で捕れた新鮮な魚介類を学校給食で使用しています。
シイラ以外にも昨年10月と11月には、市内の全小・中学校でイリコとアカモクを使用。1月には一部の学校でプリを使つた給食も予定しています。各学校の給食室でも、子どもたちに地元の水産物をおいしく食べてもらうために、料理方法や味付けを研究しています。今後関係団体の協力を得ながら、地元水産物を学校給食に活用していきたいと考えています。
問い合わせ先 学校管理課 ☎(36)1322